

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

平成31年3月1日公表

事業所名 PersonalSpace アドバンス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	職員の配置数は適切である	○			
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		すべての職員が出来ていないので、改善する
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		HPを作成し今後改善する。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		出来ている時と、出来ていない時がある。見直し課題
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		出来ている時と、出来ていない時がある。見直し課題
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○		定期的に来ていないので、定期的に行うよう改善
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		あまり学校等の連携が出来ていないので、今後改善
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		あまり連携が出来ていないので、今後改善
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		あまり連携が出来ていないので、今後改善
(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加できていないので、情報を収集し今後検討。	

	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		きちんとした体制が整っていない、不定期の発信を見直す
	個人情報に十分注意している	○			
	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			

非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		すべての職員が出来ていないので、改善する
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		避難訓練を今後検討。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		該当者がいれば、今後対応
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		該当者がいれば、今後対応
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		事例作成はしていない。ミーティング時に情報共有

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成30年3月1日

PersonalSpaceアドバンス

保護者等数(児童数)15 回収数10

割合85%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10					
	職員の配置数や専門性は適切であるか	10					
	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			じっくり見た事が無いのでわからない。	機会があれば内覧してもらう
適切な 支援の 提供	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10					
	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10					
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				10		今後、検討する。
保護者 への 説明等	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8			2	共通理解できているかはわからない。	
	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			4	送迎時にしてもらってる。	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			5	苦情が無いのでわからない	
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	3				
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	7				不定期に行っている。ので今後検討
	個人情報に十分注意しているか	10					
非常時 等の 対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		2		8	そこまでの必要性を感じない。	今後検討
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				10	そこまでの必要性を感じない。	今後検討
満足 度	子どもは通所を楽しみにしているか	10					
	事業所の支援に満足しているか	10					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。